



SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワークに参加しませんか

参加のメリット

- ・ 里山等地域の保全や利活用に関する取組や成果の情報発信
- ・ 多様な主体によるSATOYAMAづくりに関する対話
- ・ 会員同士の連携による取組の実施

参加方法

本ネットワークの目的に賛同する、企業、研究機関、民間団体(NGO・NPO)、行政など、SATOYAMAづくりに取り組む又は関心のある団体であれば参加することができます(個人での参加は不可)。参加の意思を所定様式(HPよりダウンロード)により、事務局へ提出ください。

お問い合わせ先

SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク

事務局(石川県)

石川県生活環境部自然環境課 トキ共生推進室

TEL 076-225-1508 FAX 076-225-1479 MAIL toki_kyousei@pref.ishikawa.lg.jp

事務局(福井県)

福井県エネルギー環境部自然環境課

TEL 0776-20-0306 FAX 0766-20-0635 MAIL shizen@pref.fukui.lg.jp



SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワークHP <http://pref.ishikawa.jp/satoyama/j-net/>



この印刷物は再生紙を使用しています。



「SATOYAMA」を 未来の世代へ

SATOYAMA イニシアティブ
推進ネットワークのご案内



SATOYAMA
イニシアティブ
推進ネットワーク



SATOYAMAイニシアティブ

人の営みを通じて形成・維持されてきた二次的な自然環境は、多くの生き物にとって貴重な生育空間になっているほか、伝統文化や工芸、食文化などを育み、その豊かな恵みは、私たちの暮らしの基盤ともなっています。近年、生活様式や産業構造、さらには社会経済の変化により、自然に対する人の働きかけが縮小・撤退し、里山などの二次的な自然環境やその自然資源の持続的な利用が失われつつあります。

こうした中、2010年10月に開催された生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)では、生物多様性に関する新たな世界目標となる「愛知目標」とともに、二次的な自然環境における生物多様性の保全とその持続可能な利用の両立を図る「SATOYAMAイニシアティブ」が提唱され、同イニシアティブを世界的に推進していくことが採択されました。

国内における推進組織

SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワークの設立

趣意

SATOYAMAイニシアティブを推進していくためには、各セクターの主体的な取組に加え、多様な主体が協力、連携して、取組を進めていくことが重要です。2013年9月、SATOYAMAイニシアティブの理念に賛同する企業、NGOなどの民間団体、研究機関、行政機関等国内101団体の参加の下、SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワークが発足しました。

目的

国内における多様な主体がその垣根を越え、様々な交流・連携・情報交換等を図るためのプラットフォームを構築し、SATOYAMAにおける生物多様性の保全や利用の取組を国民的取組へ展開していくことを目的としています。

設立総会、SATOYAMAダイアログの開催

2013年9月、福井県福井市で開催されたIPSI第4回定例会合(IPSI-4)に合わせて、本ネットワークの設立総会、及びIPSI-4サイドイベント「SATOYAMAダイアログ」が開催されました。SATOYAMAダイアログでは、本ネットワークの共同代表に就任した石川県の谷本正憲知事と福井県の西川一誠知事による取組事例の紹介やIPSIメンバーとの対話が行われるなど、今後のSATOYAMAイニシアティブの推進に向け気運が高まりました。



SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワークの活動



SATOYAMAイニシアティブ

国際パートナーシップ(IPSI)



IPSIは、SATOYAMAイニシアティブを推進するための国際的なネットワークです。2010年に日本で開催されたCOP10期間中に設立され、世界各地から政府、地方自治体、NPO、学術研究機関、企業、国際機関等など幅広い団体が参加しています。IPSIはメンバー間の情報共有や協力を促進することなどを通じて世界のSATOYAMAに関する理解や意識を高めるとともに、里山などの二次的自然環境の維持や保全などの活動の促進や情報の発信に取り組んでいます。

IPSI事務局からのメッセージ

ホームページ <http://satoyama-initiative.org/jp/>

「SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク」は、IPSIとしては世界で初めて設立されたナショナル・ネットワークです。IPSIの活動を国内で展開していく先進的な枠組みとして、海外のメンバーにも注目されています。皆様のますますのご活躍を期待するとともに、今後も密接な連携とご協力をお願いいたします。



IPSI事務局提供